

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 都市計画道路吉行飯田線（4工区-2）街路事業に伴う測量等業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 道路 構造物基礎

ボーリング名	Bor.No.12	調査位置	東広島市西条町寺家地内	北緯	34° 26′ 7.4″
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所	調査期間	令和2年 3月 17日 ～ 令和2年 3月 17日	東経	132° 44′ 9.4″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コ	定	者		ボーリング責任者	
孔口標高	T.P. 228.51m	角	180° 上下 90°	方位	北 0° 270° 西 180° 南 90° 東
地盤勾配	鉛直 90° 0°	使用機種	試験機 東邦D-1B エンジン ヤンマーNFD-13	ポンプ	東邦BG-3C
総削孔長	11.00m				

標尺	標高	深度	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相對密度	相對稠度	地質時代名	記 事	孔内水位／測定月	標準貫入試験										試料採取	室原	削							
												深度－N値図					N	深 度	100mmごとの打撃回数						50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度	試料番号	採取方法	内 置 試 験	
												0	100	200	2	3			4												
(m)	(m)	(m)									日	値	(m)										日								
1	227.41	1.10		粘土混り砂	暗 灰 rd1	黒 灰 rd1	淡 乳 灰 rd2			耕作土。 砂は中～粗砂主体で、粘土分を多く含む、非常に緩い状態である。	▽		1	1.10	1	300	1	300	290				3 17								
	226.81	1.70		粘土質砂						細～中砂主体で、細粒分を非常に多く含む、粘性中である。 小礫を僅かに含む。			1	1.45																	
2	225.81	2.70		砂						中～粗砂主体で、2～5mmの礫を含む。 粘土分の薄層を挟む。			6	2.45	1	2	3	6						300							
3				粘 土 混 り 砂	茶 色 / 褐 乳 灰	緩い ～井 密な				中～粗砂主体の砂と粘土の互層状である。 0.1～1.00～4.50m間は粘土主体である。 砂層は所々で粘土を含み、細礫を混入する。 粘土層は微細砂を混入する。			20	3.15	6	6	8	20	300	210											
4													7	4.15	2	2	3	7	300												
5													32	5.15	10	10	12	32	300												
6					褐 灰					花崗岩の強風化帯。 岩組織を僅かに残すものの、コアは指圧で土砂状に砕ける。 岩級区分はⅢ～Ⅳ級である。			52	6.15	14	22	14	50	290	300											
7	221.01	7.50		花崗岩									8	6.44																	
8	220.51	8.00											20	7.45	5	5	10	20	300												
9				花 崗 岩	褐 乳 灰 / 灰					花崗岩の風化帯である。 上部、コアは指圧で砕け、一部マサ状となる。 結晶は粗粒～細粒の不均一となる。 岩級区分はⅢ級である。			50	8.45	8	8	34	50	300	210											
10	217.91	10.60												71	9.15	19	24	7	50						210						
11	217.51	11.00											花崗岩	150	10.05	50									50	150					
12										比較的硬質な短柱状コアで採取される。 岩級区分はⅢ級である。													3 18								
13																															
14																															
15																															
16																															
17																															
18																															
19																															